

自動運転バス実証運行について

令和6年度第3回生活交通会議

都市整備部

資料 7

交通政策課

1 事業の目的

中心市街地において自動運動車両の実証運行を行い、自動運転にかかる課題を抽出し、社会実装に向けた更なる検証を行うとともに、市民や関係者等に自動運転技術を体感していただき、自動運転についての理解を深めていきます。

2 事業の内容(自動運転バス実証運行の結果)

○実証期間 令和6年11月～12月

※試乗期間:12月13日～15日、18～24日(10日間)

○運行便数 58便 ※22日は雪の影響により終日(7便)運休

○試乗人数 519人(関係者:73人 公募:446人) ※公募枠の乗車率:92.5%

3 前回実証実験との変更点と結果概要

(1)左回り(若桜街道～鹿野街道を周回する)ルートに変更

(前回:鳥取BT→若桜街道→城跡周辺→若桜街道→鳥取BT)

⇒自動運転率の向上に繋がった。

(2)信号機との連携(9か所)

⇒事前に信号情報が入ることにより、スムーズな走行に繋がった。

(3)途中乗降できる停留所を設置(4箇所)

⇒停留所の発着がスムーズに行うことができた。

(4)夕方時間帯の走行

⇒薄暗い時間帯においても障害物等を検知できた。

※技術面や社会受容性面等の詳細について、現在、委託事業者が作業中

4 今後の取組み(案)

・今回の検証結果をふまえ、自動運転レベル4(無人走行)をめざして、次年度の実証運行に向けて準備を進めます。(国庫補助申請を予定)

・将来的な、自動運転バスの社会実装(既存バス路線との置き換え)にむけて、鳥取市次世代モビリティ推進会議(会長:日ノ丸自動車常務)において引き続き検討を進めます。

◆運行内容

・対象路線:くる梨路線を基に中心市街地を周回するコース
(鳥取BT→若桜街道→鹿野街道→鳥取BT)

・走行距離:ルート約4.8km

・所要時間:約25分

・自動運転レベル:レベル2 (使用車両はレベル4相当で走行可)

※原則自動運転にて走行し、必要に応じて運転手による
手動操作による運行へ切り替え



■ 降車停留所の設置箇所
新町(若桜街道)、醇風小学校向い
元魚町三丁目(鹿野街道)、
旧トスク本店横、鳥取バスターミナル

＜使用車両＞

○車両タイプ

EVバス 1台

○最高速度

70km/h

(実証時:35km/h)

○定員

25人

(試乗時:13人)



試乗の様子